

## 第3回和田地区学校再編検討委員会 会議録

日時 平成24年3月22日（木）午後7時  
会場 和田コミュニティセンター 研修会議室  
出席委員 22名  
欠席 石井委員  
傍聴人 4名

### 1. 開会

### 2. 委員長挨拶

本委員会も3回目ということで、各団体で検討していただいたことをまとめる方向で行きたいと思います。よろしくお願いいたします。

### 3. 教育長挨拶

新たな資料として海拔を色で表しました。それについて後ほど説明します。年度末になり、間もなく教員の人事が発表になります。校長先生方が非常に苦勞しているのは、クラスが1つ減ると教員が1人減る。場合によると2人減る。特に和田中学校は非常に厳しい状況で、現在5教科には2人ずつ教員がいますが、それが1人減になることでどの教科を1人減らすのかという状況になってきています。今後もクラス数が減っていき、ますます厳しい状況になっていきますので、和田地区は小中学校を御協議いただければと思っております。もう一点は、海拔です。市の方で新しく防災計画が出ますが、主に学校は広域避難場所として、地区の皆さんが避難する場所になっていますが、津波に関して現在は和田小学校しかない。新たに避難してくる人を確保しなくてはいけない場所ということも考えていかなければいけない。富山地区に関しては基本的に富山小中学校として進めています。その中でもいざという時に備えて、3階建てですが車いすで上れるようにしたり、あるいは畳の部屋も用意していかななくてはいけないだろうなど、そういうことも含めながら基本設計を進めているところです。私どもが今まで取り組んできた学校の発想とはまた違った発想で取り組まなくてはいけない状況にきております。そのあたりも酌んで御異論御意見いただければと思っております。よろしくお願いいたします。

### 4. 報告

第2回会議検討結果報告について

質疑等特になし

### 5. 議事

事務局 議長委任「傍聴人の入場よろしいでしょうか。」  
委員長 許可します。

(傍聴人入場)

委員長 本日の出席委員人数は22人です。過半数に達しておりますので、会議は成立いたします。第1号「和田地区の幼稚園及び小中学校再編（案）について」を議題といたします。事務局より説明いたします。

事務局 和田・丸山地区境あたりの海拔について資料にて説明。

委員長 前回の会議で再編について提示されたことについて、それぞれの団体等の意見集約状況を報告いただければと思います。

南三原PTA アンケートをPTA会員に対して取りました。南三原幼小107家庭に対し実施し、84家庭から回答がありました。1. 中学校で行われた説明会に参加したか。これは中学校PTAの行事だったので小学生のお子さんだけの家庭は参加できなかったのではと思います。2. 小学校、幼稚園の再編については4択で行いました。1. 現状のまま。2. 和田地区のみで再編する。3. 和田・丸山地区で再編する。4. その他。結果については、再編には異論は無いというような感じですが、和田地区のみが37名、和田・丸山で再編が36名と半々くらいの数字が出ております。下には意見をそのまま記載してあります。裏面は中学校の再編について同じく4択で行いました。結果として和田中と丸山中の再編は止むなしと65名の賛同をいただいています。意見として部活動について、スクールバスや安全対策等の心配などが出ました。最後に検討委員会や統合について何か意見がありますかとお伺いしたところ、統合や一体化については賛成だがもう少し時間をかけても良いのではないか。また、再編計画を進めているのに中学校のグラウンドを整備しているのはなぜなのかなどの意見が出ました。私の個人的な考えですが、小学校についての意見は半々なのは基本的に南三原小学校区に造るということですので、その辺で分かれているのかなと思います。

委員長 ありがとうございます。

和田小PTA このようなアンケートではありませんが、各支部長を中心に各支部で総会を開いて、統合に関してどのような考えがあるのか、PTAの皆さんに聞いていただき、この間のPTA運営委員会で話があったものを報告します。今回、4校を1校に統合と聞いて非常に驚かされている保護者が多く、やはり和田地区のみで統合する、したいという気持ちが多く保護者にあったと各支部長から報告がありました。ただ、子供の減少状況を考えると、一度統合してまた少なくなったから和田と丸山で統合していくことになるのであれば、あらかじめ4校で合併して子供たちにとって良い環境を整えていくのも仕方がないという意向も踏まえて、4校合併でも良いのではないかななどの意見が多かった。ただ、4校統合で新校舎建設となっていて、海拔の説明はあったのですが、例えば南三原地区よりも和田地区の方が地盤が強いなども気にな

ったようです。地震が起こると津波だけの問題ではないので、本当に安全な場所に校舎を建てて欲しいという意見がありました。また、4校統合となると通学にスクールバスを使うことになるわけですが、バス停はどういった所になるのか、雨風を凌げる設備を整えてもらえるのかなどの細かいことも意見として出てきていました。あと、これは統合とは違うかも知れませんが、歩くことによって付く体力がバス通になることにより体力面はどうなっていくのかなど統合によって変わってくる細かい意見などが各支部からありました。あと、中学校は丸山中と説明があったと思いますが、地域活性化の部分で和田地区に小学校だけでも残してもらわないと学校を中心に若い人が集まってこないのではとの意見もありました。

委員長            ありがとうございます。和田小も4校合併でもやむを得ないと、将来的に再統合があるなら先を見越してやった方がいいのではとの意見のようにお聞きしました。中学のPTAはいかがか。

和田中PTA    中学は記述式でアンケートを取りました。1. 和田地区学校再編計画について。2. 幼稚園小学校の再編について。3. 中学校の再編について。4. その他。回収の締切辺りでインフルエンザによる学級閉鎖がありまして、世帯数が114世帯のうち52通しか集まりませんでした。概ね中学校の統合について保護者はやむを得ないと思っています。理由として、子供の減少による学級減。それにより教員の数が減り子供たちが教育の面で不利益になるのではないかと非常に危機感を感じております。あとは部活動の問題です。部活動の存続についても非常に不安になっております。保護者としては子供の部活動の選択肢はある程度あった方がいいと望んでいます。ですから、大人数の学校になって、部活は選べる、団体で大会に出られるように望んでおります。52通のうちに2通だけ、今のままでお願いしたいとありましたが、他のものについては、やむを得ない、早期にやって欲しいという意見がほとんどでした。その中で意見として、丸山中に行くのはいいが、和田中学校の跡地については、グラウンドもきれいになり、母校でもあるので有効活用して欲しいとの意見がありました。あと、和田小と同じように、保護者としては通学の問題、その他諸々不安を持っています。再編検討委員会で出た話や市からの広報で情報を流してほしいと要望があります。ホームページには載せていますが、広報紙の方もお願いしたい。あとは、保護者だけでなく地域との関係もありますので、地域の皆さんとも話し合ってもらいたい。ただ、保護者としてはなるべく早く、人数の多い学校規模になりたいというのが希望です。

委員長            小学校、中学校の意見をまとめると中学校は早期に統合した方が良く、小学校はこれからもう少し話を詰めていかないといけないような気がします

が御意見いかがですか。今すぐ取りまとめるのは難しいと思いますが、今日は色々と意見を出していただいて次の委員会に伝えていきたいと思いますが、オブザーバーの皆さんいかがでしょうか。

オブザーバー 意見をまとめますので少し待って下さい。

委員 南三原幼小のPTAの和田地区のみでという37名の意見の中で、様々な意見があるような気がします。学区が広すぎるので和田小と南三原小でという考え。あと、丸山と統合するには時間がかかるので、とりあえず2つで統合しておいてというように捉えられます。

南三原PTA そうですね。中には和田だけで統合しても、また丸山と統合になるのではないかという意見もありました。

委員 現状で良いという人と将来性で4校統合に賛成だけど、今いきなり4校だと手が回らないのでとりあえず2校で行こうという意見とではちょっと違うと思います。

南三原PTA この意見はアンケート用紙に書いてもらったのをそのまま載せていますので、ニュアンス的にここに入るのかなと思うものも確かにあります。

オブザーバー 2小学校と1中学校の考えを聞かせていただきました。私は、PTAはこういう意見を持っているということを文面にして、住民の皆さんに投げかけてはどうかと思う。そうしなければ、和田地区の意見集約として出来ていけないのではないかな。

オブザーバー 皆さんに見てもらおうということは手間がかかりますが、手間をかけることは大事だと思います。

オブザーバー 合併してから子供の出生率が減っております。その中で丸山町と和田町で中学校を再編しても、将来的に千倉で1校になると思います。小さな統合をしたところで、再統合の話は必ずあると思います。ただ、子供の声が聞こえてくる小学校は地域活性化の意味で各町に1校ずつある方がいい。あとは地域の皆さんと十二分に話し合っ、議論していただきたいと思います。

委員長 ありがとうございます。オブザーバーの方からも色々意見が出ましたので、皆さんの御意見をいただけましたらお願いします。

委員 今、子供の数のお話がありましたが、確かに生まれにくいのは事実だと思いますが、既に現状も私たちが私の子供たちは困っています。保護者も役員を出すにしても人が少ないということで困っています。困っていることが統合して全て解消するかと言ったらしないかもしれないですが、やはり今保護者は困っている、不安に思っているということを少しでも解消できるのではと統合のお話が来たのかなと思っています。

委員 今、オブザーバーの方から生徒の推移についてお話がありましたが、正確な数で考えてみたいと思いますが、資料の中で中学校の生徒の推移予想の平

成30年を見てみると和田中が94、丸山中が98、千倉中が217。この時点の人数を問題にされているのではなくて、平成30年の出生数を問題にされているのでしょうか。平成30年の場合、和田と丸山で190人台あるわけですので、すぐに千倉中と統合というお話には進まないと思います。

オブザーバー 統合して3年4年して、また再統合の議論が出た時におそらく市は混乱するのではないかと。それと経済状態を考えれば今の出生数よりはるかに減ってくると思います。ですから、子供たちが十分に活動していくため、部活動等教育のことを考えた時には将来を見据えた中学校を作っていくかなくてはいけないと思っております。これは私個人的な考えで統合することは賛成ですが、どういう意向でいつ統合していくのが最大の議論する点だと考えております。

委員 私は学校経営する立場で保護者の方から学校経営評価をしてもらいます。その中の記述で答えてもらった中に学校再編に関することがいくつかありました。私が印象に残ったのは、安全問題と学校跡地の利用について非常に心配をされているということです。私は学校再編の問題というのは3つくらいあると捉えています。1つは数の問題、もう1つは安全問題、そして3つ目がまちづくりに絡むコミュニティー等の問題。1番目の数の問題は避けて通れない問題で色々な予測や現実的な部活動の問題等ありますが、先送りしてはいけないひっ迫感が住民の方や保護者の方にあると思います。一方でほとんどの保護者から指摘があった避難場所等の安全問題。南三原小学校の海拔、和田中学校の立地、和田小学校の急傾斜地のような、1年前の震災がまだ生々しいので、これからどうなっていくのだろうという心配が文面や立ち話を伺った中でも強く感じます。それから、コミュニティー等の問題ですが、具体的に和田小がなくなった時に跡地がどのように使われるのか。子供たちが群れる場所、地域の大人と子供が関わる場所や機能をどう残していくのかということも並行して、これは教育委員会だけではなく、市の他の部署等との連携の中でやっていく事だろうと思います。ですから、そういうところを同時並行的に整理しながら検討委員会の話を進めていく、議論を収束させていく必要がある、そうでないと全員の意見が一致することはあり得ないと思います。

委員長 ありがとうございます。他に何かございますか。

教育長 子供が少なくなってきたから統合するという面もありますが、逆に少子化の歯止めをかけるためには教育を充実させていかなくてはいけない。標準学級学年2学級の規模を可能なら作る。子供の数が多いということは、教員数も多くなり、色々な可能性も多くなっていくと考えております。ですから、そういう規模の学校をまず作る。あとは、幼保一体化の預かり保育。和田地

区については学童保育でやっていますが、公設公営という形での預かり保育、幼稚園の子供を朝7時半から夕方6時まで預かります。ゆくゆくはもう少し時間を拡大して安心して働きながら子育てをする環境にしたい。そういったものを進めていくつもりです。その中で、確かに23年度に生まれた子供の数は学年200人です。数を考えれば中学校は1校でいいだろうと議論も出てくるわけですが、南房総市の地形や地理的な状況を考えますと南房総市で中学校1校ですと高等学校と同じ学区になってくる。これは通学することが無理。富山中では、1番遠い子供で11kmくらいからスクールバスで通って来ています。これが富浦中と統合になりますと中学生であってもかなり負担になってきますし、もし、スクールバスが走らなかつたら自分の足では行けない状況になってきてしまう。そのような状況で富山中学校につきましては、中学校統合ということで規模を広げることは出来ませんので、小学校と一緒にすることによって子供の数が増えますし職員の数も増えてくるというような選択をしたわけです。この和田地区丸山地区につきましては、丸山中学校の校舎を使うにしても富山地区と同じ通学距離で済むわけです。小学校につきましても新しい富山小学校と同じ通学距離で済む。子供たちにとって通学できる可能な範囲ではと判断しています。この先、子供が減ってきたとしても、子供たちに係る負担を考えると更に大きな統合は考えにくく、また、減った時に、最良な方法は統合ではなく、別な方法をとっていかなくてはいけないと思っております。

委員長            ありがとうございます。今ここで判断するのは非常に難しいことかと思  
います。次回、協議を進めていくということによろしいでしょうか。

委員                この検討委員会の案として丸山地区の意見も聞いていかなければいけない  
と私は思っています。次回、何らかの形で丸山側の意見を言ってくれる人を  
お願いしたい。もしくは一緒に会議を開くとか。

委員長            教育委員会の方で丸山地区のことを報告していただけますか。

教育長            今日の会議録については、丸山地区の再編検討委員会時の資料として提供  
します。そして、26日の丸山地区の再編検討委員会または前回の会議録は、  
皆様方に資料としてお渡しします。また、私どもの方から丸山地区の委員長  
にお願いして受けてもらえれば、会議録と丸山地区の話しをしてもらうこと  
が出来ると思います。

委員                1回和田の方向を出してから丸山と話しをして、そしてまた方向を変える  
というのもありだと思います。

副委員長        この検討委員会でも方向性を多少まとめておいた方がいいのでは。

委員                中学校の統合と小学校の統合は、基本的に非常に密接な関係があるにして  
も、話としては別な話と思える。和田中学校の保護者の大半は急いでくれと

いう声。そして南三原小学校でとったアンケートで中学校のことについては、和田丸山が一緒になることについて統一されている。和田幼小については、そこは把握してはいないが、ただ、察するに中学校の問題については、もはや和田地区では先に向けて動いてもいいという感触を私は持っています。一方、小学校のことについては、中学校とまたニュアンスが違ってきているような。その辺で小中の問題をどのようにするか、少し方向性の整理をしても良いと思います。その確認事項はそれぞれの組織の中でできちんと会員の皆さん、住民の皆さんに周知するということがまとまるということにつながると思います。

委員 オブザーバーの方が、アンケートを取ったのでお知らせをしたらどうかとありましたが、やはり地域の人たちの納得をいただいてから進めていかなくてはいけないし、結論を急いではいけない。ただ中学校はなるべく早くやっていただきたいという気持ちもあり、同時進行でうまくやって欲しいという希望があります。

委員長 要は、検討委員の中だけで話をして決めてしまうわけにはいかない。ある程度、各地区の人たちにもこのような意見が出ていると周知した上で結論を出した方が良いと思います。文書で周知すれば、みんな見て何か意見が出てくると思うので、各区に渡るようにした方が良いと思います。

委員 たくさんの委員の方に意見を出していただきましたが、子供たちもそれぞれの考えを持っているかと思います。本当の子供の気持ちというのも一部考えて、それを反映させた中で、また一般的な議論に行ければと思うがどうか。

教育長 富浦地区、富山地区、白浜地区で再編を進めてきましたが、子供たちの意見は聞いていません。私ども大人の責任で子供の将来の教育環境をどう作っていったらいいのか、大人の責任で判断していくという考えで従来3地区については聞いておりません。逆に、子供が意見を聞かれても困るのではないのか。大人でさえ困っている状況ですから、これは非常に難しいかと思えます。私どもとしては基本的に子供たちの意見をアンケート等をして聞くつもりはありませんし、これまでもやってきておりません。もう1つ、地区の方については、オブザーバーの方からもありましたPTAがアンケートを取り、集約した意見を伝えていくことですが、私どもの立場はこの再編については、皆さん方に協議をお願いしている立場ですので、私どもが先頭切って説明していくというのは少しおかしな話になります。皆さん方の了解が得られれば、例えば、和田小学校区あるいは南三原小学校区で保護者以外も集まっていたら、私どもの案を説明する。そして、保護者のアンケートや考え方をそこで話をしていただき、意見をいただくという機会を設けようということでしたら、それはやっていきたいと思えます。区単位がいいのであれば、私ども

は区単位で行きます。

委員 区ごとでは大変だと思いますので、旧和田地区全体ということで説明していただければ、関心ある人は集まってくると思います。

委員 アンケートでも統合は早くした方が良いという意見が多かったが、その時には中学校は丸山中学、小学校は和田地区内に新たに建設と新聞に載っていましたし、計画で15m以上のところが望ましいということもありました。しかし、この資料の境目の和田はほぼ赤、選択の余地がなさそうに思えます。小学校は和田に残るから中学校は早く進めてくれという意見もあると思います。検討されて15m以上という数字が出ているわけですが、その時にこの境目あたりで15m以上のところがあって出した計画なのか。ただ数字上で15m以上が望ましいという計画だったのか。

教育長 これは新しい学校の候補地はここにするという事でなく、南小も南三原小も和田中も海拔としては問題がありますということです。市の方で14m以上を広域避難場所にすると決まったのは最近ですので、それに基づいて作りました。当初からこの資料を持っていて、この境目に造るという考えはありません。これを基にあそこにしかないという判断は私どももしておりません。ただ基本的な考えとして南三原小学校区で検討していきたいということは変わっていません。

委員 それが確認できればいいです。

委員長 他に何かございますか。中学は和田としては、和田と丸山と一緒にしてもいいのではないか。小学校としては、もうちょっと検討した方がいいのではないかという意見だと思います。あとはこれをどう住民に説明してどう展開していくのか、まとまっていませんが、今どのようにしていくか決めてまいりますか。

委員 今日、ある程度の方向性は決めておいてもいいような気がします。

委員長 そういう意見がありますがいかがでしょうか。

委員 中学校については、この再編案が出る前から丸山と一緒にしていくと保護者もそういう気持ちがあったと思う。この中学統合はあまり悩まずに進んでいける印象がありますので、中学に関しては統合の方向で進めていくことでいいのではないかと思います。小学校に関しては、和田小はアンケートを取っていないので何とも言えませんが、南三原小で4校統合について賛成反対の半々の結果が出ているように、和田小もアンケートを取れば同じような結果になるのではないかと予測されます。また、どうしても意見が小学校の保護者が中心になってしまい、幼稚園や保育園の保護者の意見は吸い上げられていないので、この会議のことや統合することによるメリット、少人数によるデメリットを地域にお知らせすることも考えていただけたらと思います。



- 教育長 小学校、幼稚園単位で私どもの説明会をもう1回した方がよろしいですか。
- 委員 していただくとありがたいです。
- 教育長 その場合は、現在の小学校幼稚園の保護者だけでなく、小さいお子さんをお持ちの家庭も参加するよう私どもも声を掛けますが、皆さん方も掛けていただいで出席していただきたい。
- 委員 4月21日にPTA総会が和田小学校で行われますので説明に来ていただけるようであれば、声掛けをしたいと思います。
- 委員 現在のPTA運営委員会から幼稚園の保護者が統合について全然知らないとの意見があつて、来ていただけるのであればPTA総会時に話が出来るようにお知らせしたいと思います。
- 委員 学校再編推進課の方に和田幼小PTA総会に来て説明して欲しいと要請はしてあり、すでに対応していただけるものと思っています。和田幼小PTAは過去2回、全保護者に再編検討委員会会議の要旨をまとめたものを配布していました。広報だけでなく、色々やっていくことが保護者や地域住民の方への1つの誠意あるいは使命なのかなと思います。
- 委員 南三原小もこの会議の内容を配布しておりますが、総会に来て説明していただければありがたいと思います。
- 教育長 私ども伺って説明をします。
- 委員 中学はとにかく早くお願いしたい。しかし、丸山中に行けば津波の心配はないが、学校名を変えてくれるのかという問題や地域の方も中学校は地域の象徴だと思うのでそれが無くなることに納得してくれるのか。北三原の時は名前も校章も変えることがなく、悲しい思いをしました。
- 教育長 4月1日からスタートする富山小学校の校舎は3年間岩井小学校を使いますが、名前は富山小学校と変えてあります。校歌も校章も全て変えておりますので、今までの形からいうと富浦、白浜の場合は統合しても名前が残っていますが、平群岩井が富山小になったように和田丸山が統合したら新しい校名、新しい校歌、新しい校章を私どもは当然の事ながら想定しています。
- 委員 丸山の人それが納得するのか心配がある。
- 教育長 たまたま校舎は丸山中を使うが、置かれている生徒の状況や学校の状況は同じです。単独でやっていけば非常に厳しい状況になる、そうすると手を組むところは手を組んでいかなくてはいけない。これは丸山中学校に行くから和田中学校は吸収されたという問題ではなくて、ある一定規模の学校を作るためにたまたま両方が一緒になり、校舎は丸山中学校の校舎を使いましょうという話なので、あくまでも丸山の名前にこだわることはないと思います。
- 委員 PTAの説明だけでなく、地域への説明は。
- 教育長 地域に関しましては、私どもが主体に説明するのは難しい。私どもが提案

した内容について皆さん方に議論していただいて、今こういう方向になって  
いますという説明をしていきたい。ここの議論がある程度煮詰まって、地域  
ごとに説明に行きましょとなれば、私ども事務局として設定していきたい  
と思っております。

委員 P T Aの役員が変わるので、ある程度、決めてもらっても大丈夫ですか。

副委員長 中学に関しては、皆さんの意見だと思います。地域は4月1日に地区の総  
会があるので、その会議の中で説明が出来ます。

オブザーバー 決まってから報告するのではなく、教育委員会は住民に対して説明責任があ  
ると思います。

委員長 和田としての方向性は、皆さんの意見を集約すると中学については。特別  
反対の意見はないようですので、中学は統合する。小学校については、もう  
少し検討の余地があると思いますので、次回以降に結論を急がず詰めていく  
ということでしょうか。

委員 基本的に今の委員長のまとめの意見で良いと思いますが、中学校について、  
この第3回の会議で統合と決めましたとなると問題があるのではないかと。

委員長 いえ、意見としてその方向性でまとまっているということであって、これ  
で決定ということではないです。

委員 つまり、各P T Aの方が伝えていく表現として、2校の統合を前提として  
今後メリットデメリットについて色々考えていく。当然、デメリットを見て  
からでも後戻りは出来るわけですから、そういうことが伝わるような言いま  
わしをお願いします。

教育長 確認ですが、今、説明責任ということがありましたが、私ども教育委員会  
としては、提案した案についての説明はできますが、その後どうするかとい  
うことを皆さん方の協議にお任せしておりますので、それ以上の説明は出来  
ないということは御理解いただきたいと思っております。それで学区単位でやるか  
どうかは皆さん方に判断していただくわけですが、その時、中学校は統合の  
方向にこの検討委員会で決まりました。小学校については、まだ検討する余  
地があるので、それぞれの小学校のP T A総会時に私どもも伺って説明しま  
す。その後、それぞれの小学校幼稚園のP T Aの方で意見を集約して第4回  
のこの再編検討委員会で議論していただいて、併せて小学校と中学校の考え  
方をまとめた段階で学区の皆様説明する段取りの理解でよろしいですか。

委員長 そのような方向で和田についてはまとめてよろしいですか。今後は、中学  
は統合するということで、いろんなことを研究しながらまとめていく。小学  
校についてはもう少し再編にあたって検討をして、次回の第4回以降で意見  
集約に努めることでよろしいですね。次に第2号「第4回の検討委員会の日  
程について」を議題とします。

事務局 第4回検討委員会の日程についてですが、新年度の開催予定となります。検討委員が、所属する団体等で役員改選があると思います。事務手続きに時間が必要になることから、次回は5月下旬から6月上旬になるかと思いますがいかがでしょうか。また、それまでの間にPTA総会等があるかと思しますので各団体等の意見集約に努めていただければありがたいと思います。

委員長 只今事務局から次回の日程について報告がありました。第4回検討委員会は、事務局から報告のとおり5月下旬から6月上旬を予定し、事務局と相談のうえ決定いたします。これを持ちまして、本日の議事を終了いたします。  
(傍聴人退場)

閉会